

広報ちゅうさん

6月号 平成23年6月20日発行



もくじ

新院長あいさつ

二ページ

栄養サポート生肉に注意

三ページ

通所リハビリテーション便り

四ページ

点眼液について

五ページ

新院長あいさつ

院長 田中 正一

はじめまして。このたび院長を命ぜられました田中正一と申します。

前任地は熊本県の医療法人財団聖十字会 西日本病院でした。熊本と言えば雄大な阿蘇の山々を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。美味しい山の幸、清らかな水、いたる所に湧き出る温泉は私にとって魅力的な土地でした。一転して今度はエメラルドグリーンの美しい海の近くの病院です。

実は、ちゅうざん病院の勤務は今回で3回目となります。三年まえにも半年間勤務しておりましたので、職員の方の多くはすでに顔なじみです。その頃見つけた沖縄そばの店もそのままあり、懐かしい気持ちで戻って参りました。

ちゅうざん病院はリハビリテーション専門病院として有名な病院であり、末永英文会長や今村義典前理事

長・院長が長年かけて築かれた歴史があります。前回までは、病院の一スタッフとして勤務してまいりましたが、今回は今村先生の後任として、病院全体の舵を取ることに成り、その重責にあらためて身の引き締まる思いがいたします。16年勤務された今村先生には及びもつきませんが、引き続き地域医療へ貢献していきたいと思えます。

名言に「道邇し（ちかし）と雖も（いえども）行かざれば至らず 事は小なりとも雖も為さざれば成らず」とあります。「近い道のりでも進まない」と到着しないし、どんなに小さいことでも実際にしなければ完成しない」との意味です。その名言を心に抱きながら、リハビリテーション専門病院として今まで以上に地域の皆様の医療に貢献できる事は何なのかと考えながら、小さな事でも積極的に取り組んでいきたいと思えます。どうかよろしくお願いいたします。

栄養サポート 生肉に注意！

管理栄養士 高橋 亜矢

梅雨に入りますます暑くなってきました。このジメジメした時期は食中毒が起こりやすい時期でもありますので、皆さん食中毒に注意して下さい。

焼肉チェーン店でユツケを食べた客の集団食中毒は、子供やお年寄りが死亡するなど悲惨な結果となっています。

○腸管出血性大腸菌とは？

赤痢菌と似た毒素を作り出す大腸菌。今回の集団食中毒の原因であるO111のほか、過去にハンバーグや牛肉、生の野菜などで感染があったO157などがある。

○腸管出血性大腸菌が発生しやすい時期は？

初夏から初秋にかけて発生が多い。

○どんなことに気をつければいいか？

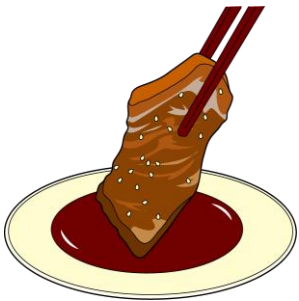
菌は七十五度一分以上加熱することで死滅する。中心部までよく火を通す。

子供と高齢者は感染しやすいため、生肉はもちろん加熱が不十分な肉を食べないように気をつけて下さい。

○他に肉が原因で起こりやすい食中毒とは？

カンピロバクターがあります。食中毒発生原因筋の2位となっています。難病のギランバレー症候群の3割がカンピロバクターへの感染が原因と言われています。

これからバーベキューの機会が増える季節ですが、肉の摂取には十分に注意して下さい。



ちゅうざん病院

通所リハビリテーションシヨン便り

通所リハ師長 伊禮 眞澄

一. 六月の主な活動内容

★七夕制作活動

★お楽しみおやつ会・・・ホットケーキ作り

★ボランテИА・・・一人三線シヨン（新里紹栄）

★屋外活動・・・ミニミニ動物園

二. ボランテИА活動報告

集団レク活動の時間帯にボランテИАで、一人

三線シヨンを毎月第三土曜日に導入しています。

季節の唄等も独特なアレンジで演奏し、また、新

里さんならではのウチナーぐちも聞けて毎回心躍

ります。

この一人三線シヨンは、看護の日のイベントに

も、出演してもらい地域の方々から大反響でした。やっぱり三線の音色は落ち着きますね。普段はレクに参加せず、ベットで休まれている利用者も参加され、笑顔も増えてきました。

音響を使用し、迫力ある生演奏で、職員のテンシヨンも絶好調・楽しくカチャーシーを踊る職員に、大満足の利用者笑いをとびこえ泣いてしまう利用者等、上機嫌で過ごすことが出来ました。新里さんに心より感謝します。

今後もボランテИА活動を通し、地域との交流の輪を深めて行こうと思います。

※一日体験、見学も大歓迎です。

お気軽にご相談下さい

事前にご連絡下さい。

点眼液について

薬剤師 大倉 桂子

◇点眼液の正しい使い方

- ①まず手を石鹸で洗い、清潔な状態にします。
- ②頭を後方に傾け、一方の手で下まぶたを軽く引っぱり、容器を目の真上に持ってきて点眼します。容器の先がまぶたやまつ毛に触れると汚染の原因となりますので注意してください。
- ③目をつぶり、目頭を軽く1〜2分間くらい押さえます。そうすることで鼻やのどに流れてしまうのを防ぎ、薬の吸収をよくすることができます。
- ④目の縁や皮膚についた余分な薬をふきとってください。そのままにしておくと、眼瞼炎などを引き起こすことがあります。

◇就寝前に点眼する場合

涙の流れは、起きている時と比べて就寝時により停滞します。薬の成分によっては停滞により眼への刺激を増強することがあるので、就寝直前に点眼するのは避けてください。遅くとも就寝の5〜10分前までは点眼を済ませましょう。

◇2種類以上の点眼液を使う場合

先に点眼する薬の効果が減少するのを防ぐため、点眼間隔を5分以上あけてください。間隔をあげることで相互の影響が少なくなると思われるため、点眼順序に特に決まりはありませんが、次のことに注意してください。

- ・よく効かせたい方の薬を後に使う。
- ・懸濁性の点眼液やゲル化する点眼液は最後に使う。
- ・眼軟膏は、水溶性である点眼液をはじくので最後に使う。

◇点眼液の保存方法

- ① 添付の袋に入れ、直射日光を避けてください。
- ② 高温な場所は避け、できるだけ涼しいところに保管してください。冷蔵庫で保管する必要がある薬、逆に冷所保存してはいけない薬もあります。詳しくは薬剤師にお尋ねください。
- ③ 開封後は、防腐剤が入っているものでも約1か月を目安に使い切りましょう。にごりや浮遊物などが認められた場合には使用しないようにしてください。防腐剤が入っていない点眼液は、使用期間が短いので注意してください。

